



パワーアップリーダー第3回研修会参加パートⅢ！

アルファベットの文字の指導や習得のさせ方に関して、各市町のパワーアップリーダーの間でも考えや方法が異なっています。研修会で見たり聞いたりしたことをお伝えします。

授業では、4線に児童が書く際、H R Tが書かせたい一文全部を書いて見せて、その後、①全文を声に出して読む。②単語ごとに空書きをする。③単語をなぞる。という一連の流れで指導されていました。

【良い点】	・指導がとてもていねいで、児童がアルファベットの文字の形や書く位置を正しく理解することができる。 ・「やりとり（音）」から「書くこと」へつながりがある。
【課題】	・指導するのに時間がかかりすぎ、書かせる量が減ってしまうのではないか。 ・単元全体の中で、アルファベットの文字の指導にそれほど多くの時間を使うことができない。

などの意見が聞かれました。

安芸太田町、または、自分の学校では、児童の実態に合わせてどのように取り組んでいったらいいのか考えていく必要があります。単元の中で何をどれだけ書かせるのかというつけたい力やねらいを明確にして指導していくことが大切です。まずは、「Let's Try!」です。やってみて、課題などを整理し、次に生かしていきましょう。